

小浜市旭座大入り提案事業

# 東京大衆歌謡楽団



今歌う、忘れかけた心を照らす  
昭和初期の珠玉の名曲の数々！

## 東京大衆歌謡楽団～プロフィール～

東京大衆歌謡楽団は、唄・高島孝太郎、アコーディオン・高島雄次郎、ウッドベース・高島龍三郎による、富山県出身の三兄弟によるユニット。世界の民族音楽をテーマにしたバンド活動をする中、昭和歌謡の多様なジャンルの音楽要素が凝縮されたメロディーに魅了され、バンド解散後、昭和歌謡にのめり込む。

平成21年4月、東京大衆歌謡楽団を結成。昭和初期の流行歌にこだわり、同年12月にバンド名と同じタイトル『東京大衆歌謡楽団』のCDとカセットを同時発売。浅草や上野などの路上ライブやワンマンライブで、中高年の方々の熱烈な支持を得る。

平成27年3月より、三男・龍三郎がウッドベース担当で加入し、新生【東京大衆歌謡楽団】としてスタート。

同年6月17日コロムビアより発売のCD『街角の心』でメジャーデビューを果たす。

現在も全国でライブ・街頭演奏を行うほか、各種イベントやテレビ・ラジオ番組などにも出演。

靖国神社能楽堂での実演奉納や、浅草神社境内の定期実演奉納で人気を博し、若い世代にもファン層が広がっている。



◆唄

高島 孝太郎(たかしま こうたろう)  
長男/1983年8月15日生まれ



◆アコーディオン

高島 雄次郎(たかしま ゆうじろう)  
次男/1985年4月29日生まれ



◆ウッドベース

高島 龍三郎(たかしま りゆうざぶろう)  
三男/1987年8月6日生まれ

2018年3月11日(日) 13時30分開場/14時開演  
まちの駅・旭座 前売1000円/当日1500円

問合せ：まちの駅・旭座(0770)52-2000

主催：東京大衆歌謡楽団小浜公演実行委員会